

【所管事務の調査（報告）】

多摩区栗谷3丁目における
污水管・雨水管の誤接続について

上下水道局

◎これまでの経過

3月 7日

五反田川の白濁

3月14日

誤接続判明

（錦ヶ丘老人いこいの家・

錦ヶ丘こども文化センター）

4月17日から4月30日

追加調査を実施

5月 1日から5月 8日

追加調査結果の整理、工事の準備

5月10日

誤接続解消工事開始

5月17日

誤接続解消工事完了

◎錦ヶ丘老人いこいの家・錦ヶ丘こども文化センターにおける
誤接続について

- ・令和6年3月7日に五反田川の白濁が確認され、管きょ内の追跡調査を行った結果、3月14日に公共下水道（污水管・雨水管）の誤接続が確認されました。

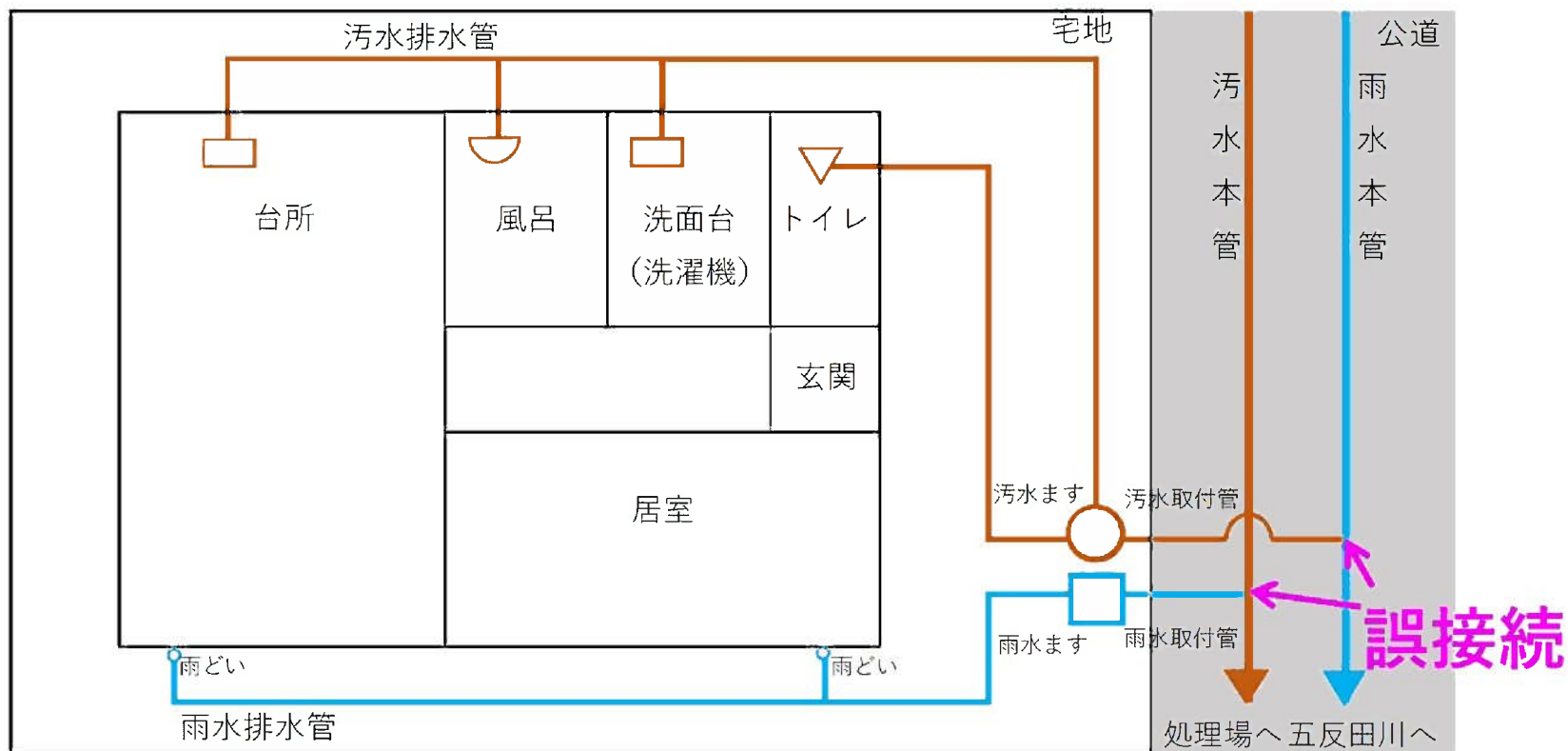


白濁水が五反田川への流出した状況
（誤接続箇所の下流）



誤接続が確認された時点での最終ます
（丸ふた：污水 角ふた：雨水）

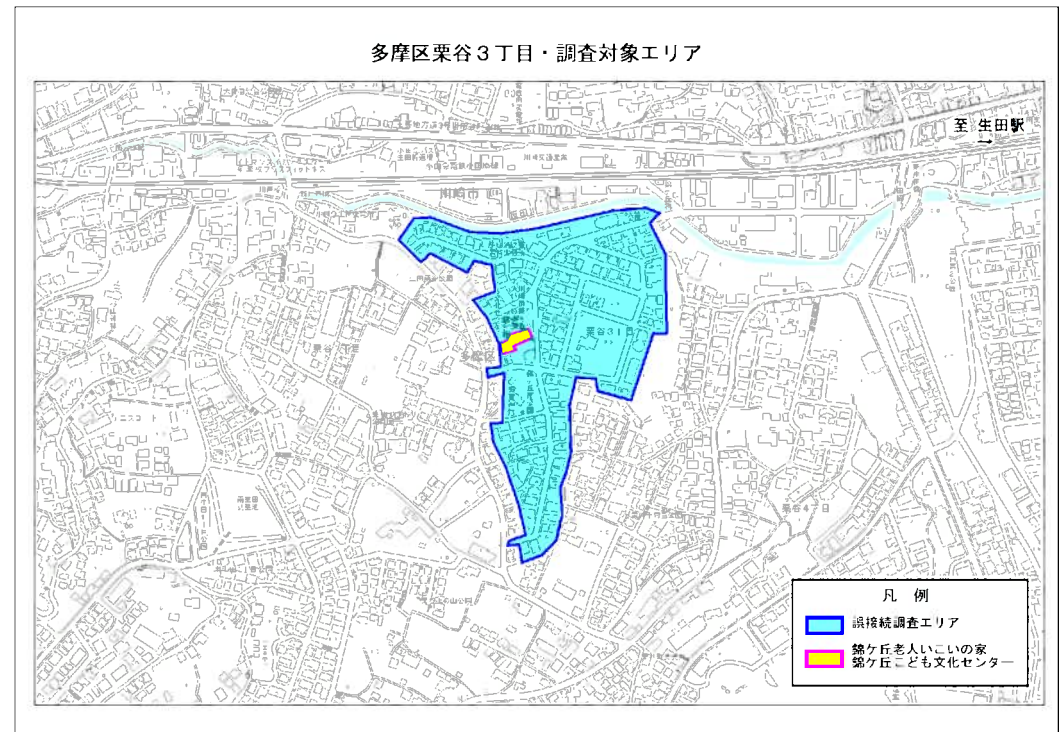
◎誤接続状況について（イメージ図）



（誤接続状態のまま浄化槽を廃止したことにより、未処理汚水が五反田川へ流出）

◎誤接続の追加調査について

- 錦ヶ丘老人いこいの家・錦ヶ丘こども文化センターが接続している下水道管は、昭和49年に民間の開発工事により設置され、市が引き継いだもので、当時の書類は廃棄されており、原因の特定には至っておりません。
- そのため、同施設と同時期に開発されたエリア内全件（153件）を対象に、4月17日から公共下水道への誤接続の調査を行いました。



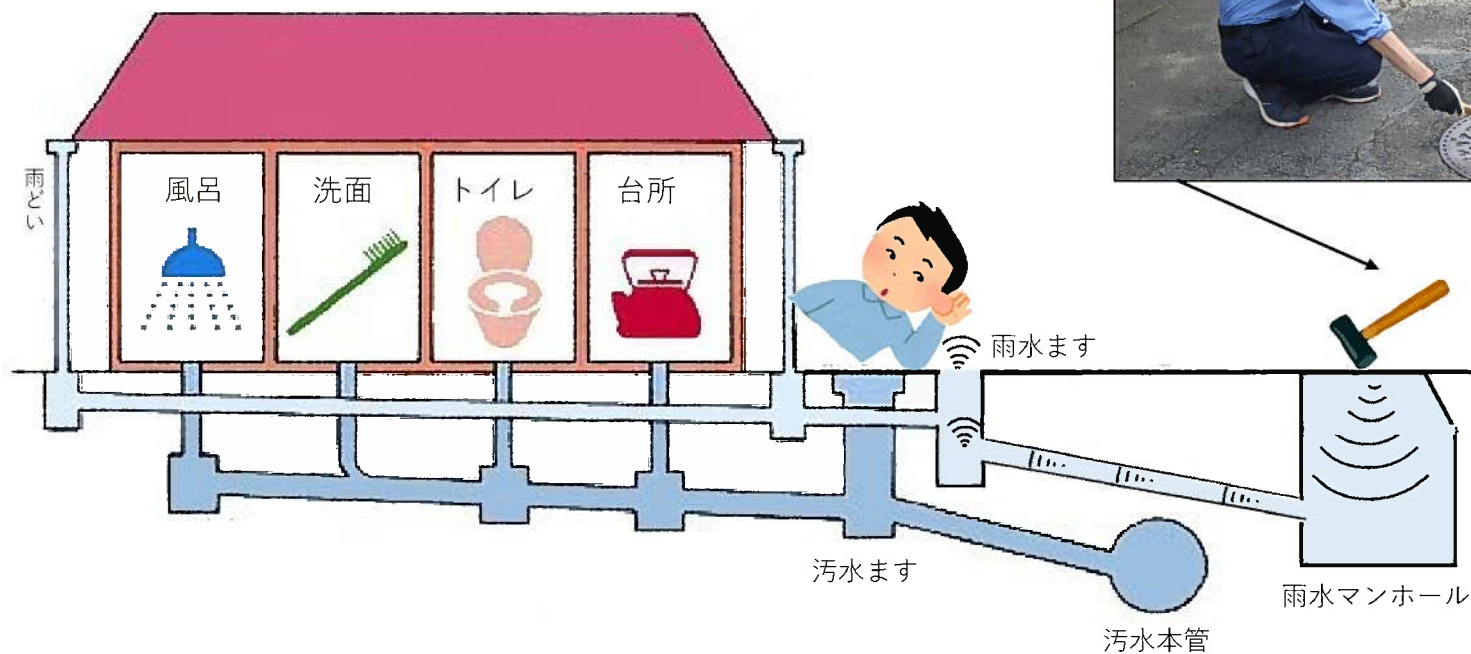
◎追加調査の概要

現地調査期間	4月17日から4月30日
調査方法 (調査は市職員が実施)	①打音調査※によるスクリーニング ②居住者の協力により汚水の放流先を目視確認

※本管マンホール蓋をハンマーなどでたたき、宅内の污水ます、雨水ますのどちらに打音が響いてくるかを確認する調査

◎打音調査について

- 本管マンホール蓋をハンマーなどでたたき、宅内の汚水ます、雨水ますのどちらに打音が響いてくるかを確認する調査



◎追加調査の結果

・ 1 5 3 件の追加調査の結果、 1 4 9 件は正しく接続されており、次の 4 件について誤接続が確認されました。

誤接箇所	誤接状況
一般家屋（3 件）	汚水の取付管が雨水本管に接続
錦ヶ丘北公園（水飲み場）	水飲み場からの取付管が雨水本管に接続

◎誤接続による五反田川への影響

- 五反田川における水質の常時監視の結果、「生活環境の保全に関する環境基準」※を上回る数値は確認されておられません。

※人の生活に密接な関係のある、財産や動植物及びその生息環境等の保全を目的とした基準

五反田川の各年度別水質調査結果（参考：「川崎市大気・水環境計画」付属資料等抜粋）

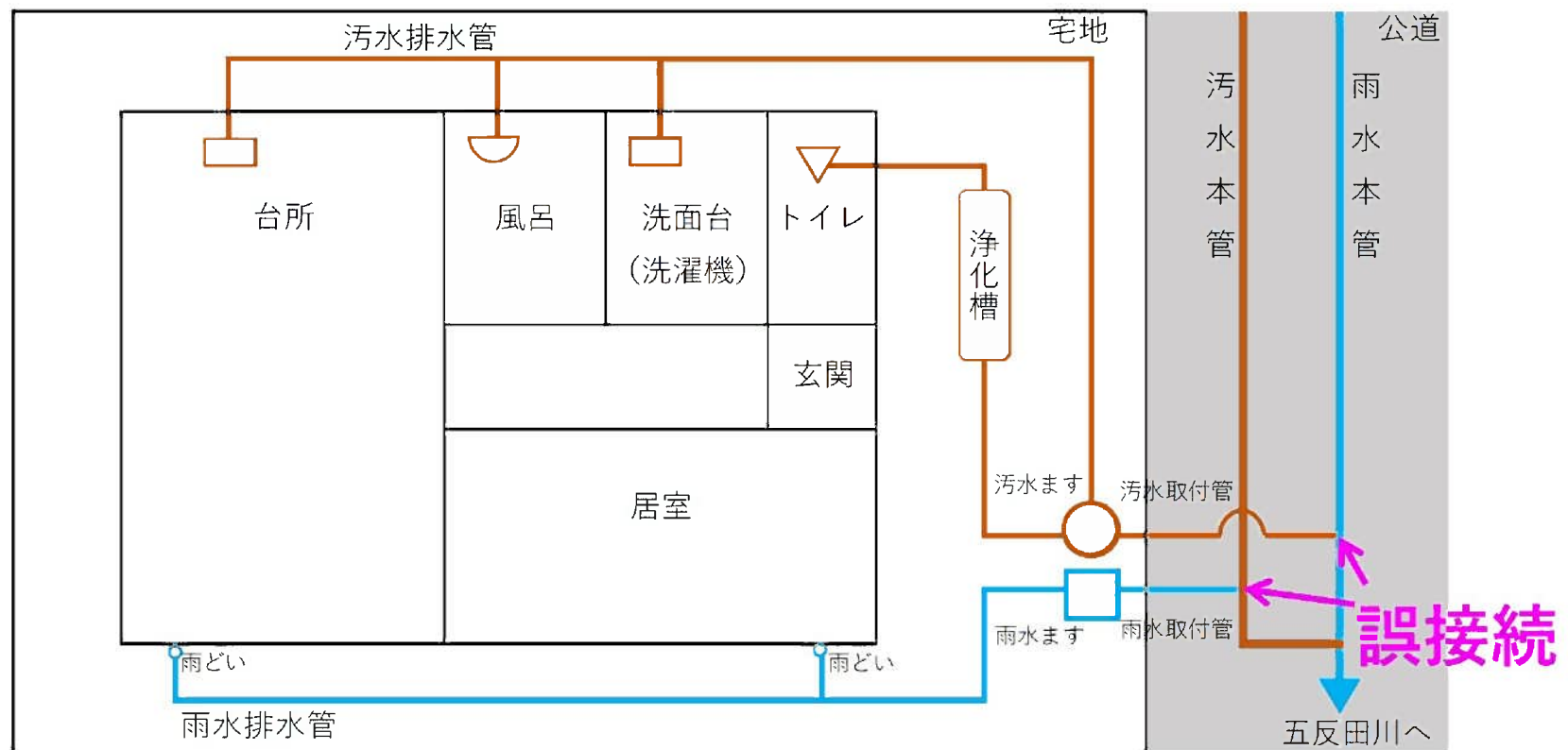
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	生活環境の保全に関する環境基準
BOD (mg/L)	1.2	1.7	1.3	1.6	1.4	1.7	1.1	1.4	1.2	1.2	1.5	3 以下

（参考：速報値）五反田川の水質調査結果（川崎市ホームページ抜粋）

測定項目	令和6年3月7日 調査結果 (速報値)
BOD (mg/L)	0.7

◎誤接続の原因について

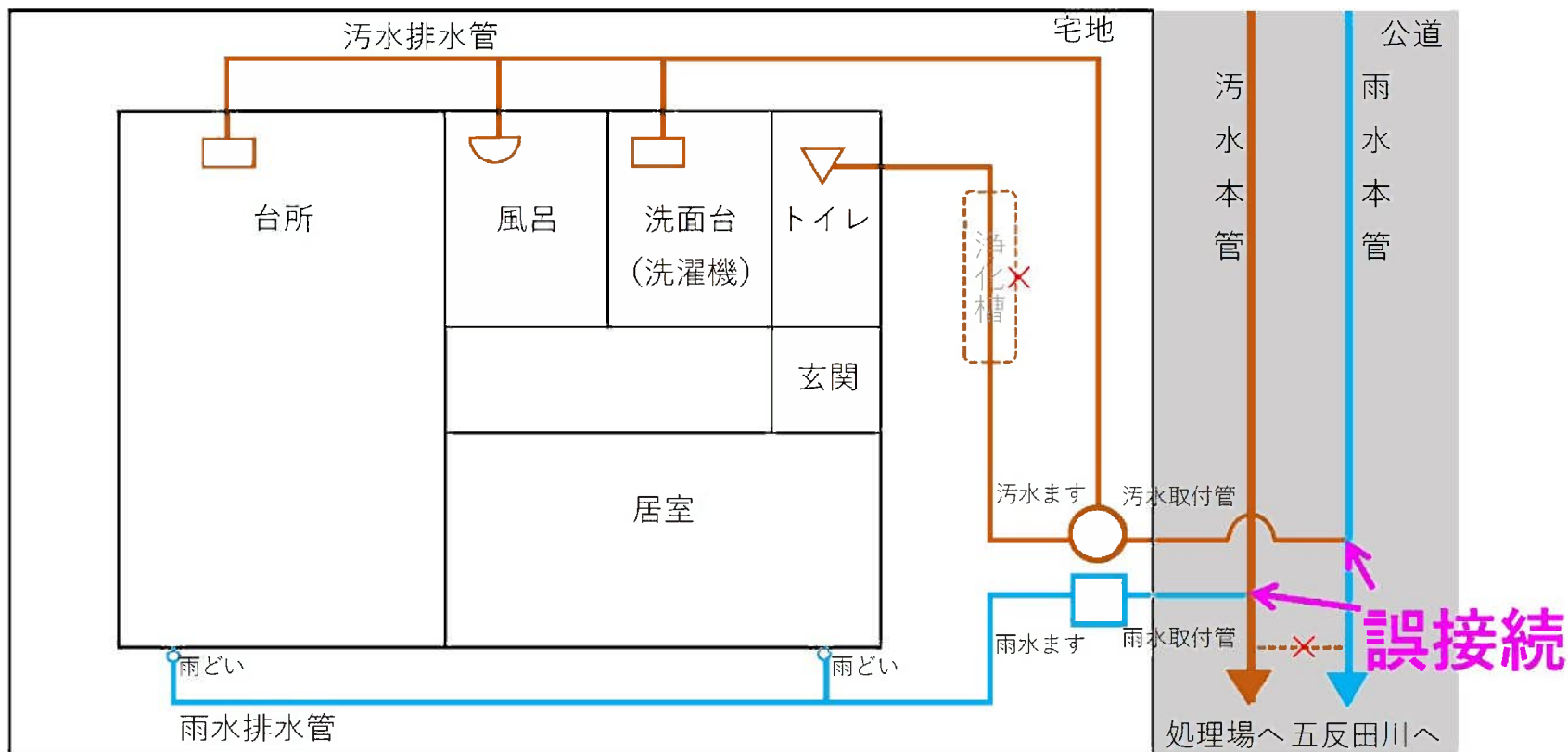
○昭和49年 開発工事完成時（浄化槽排水時）の状況



- ・ 民間開発工事において、汚水取付管が雨水本管に誤接続。
- ・ 下水処理場が完成していなかったため、汚水本管の最下流で雨水本管に接続。

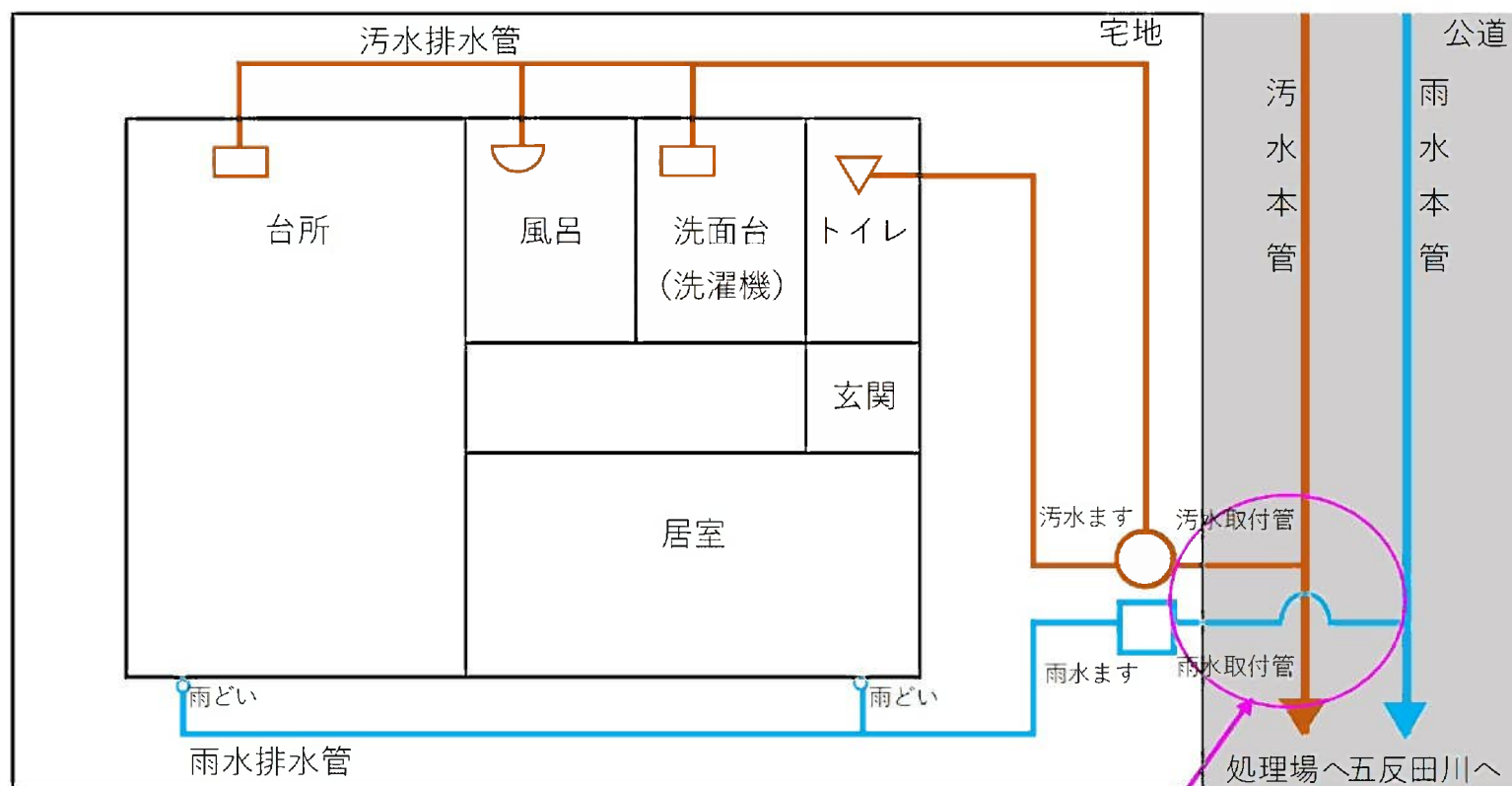
○浄化槽廃止後（現在の誤接続状況）

（昭和61年：汚水本管と下水処理場がつながり、順次浄化槽を廃止）



（誤接続状態のまま浄化槽を廃止したことにより、未処理汚水が五反田川へ流出）

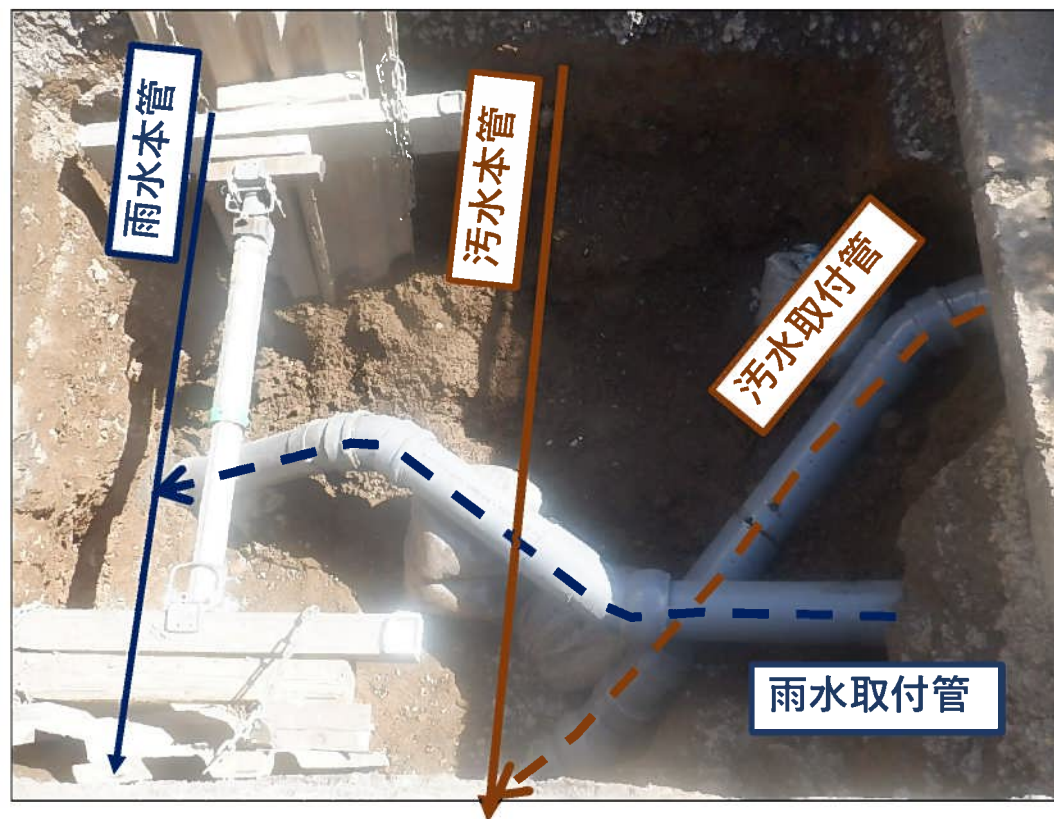
○正しい接続状況（今回の工事により誤接続を解消）



今回の工事で誤接続を解消

◎工事の状況

- 上下水道局にて5月10日から工事に着手し、5月17日に完了



工事により誤接続を解消した状況

◎誤接続への対応

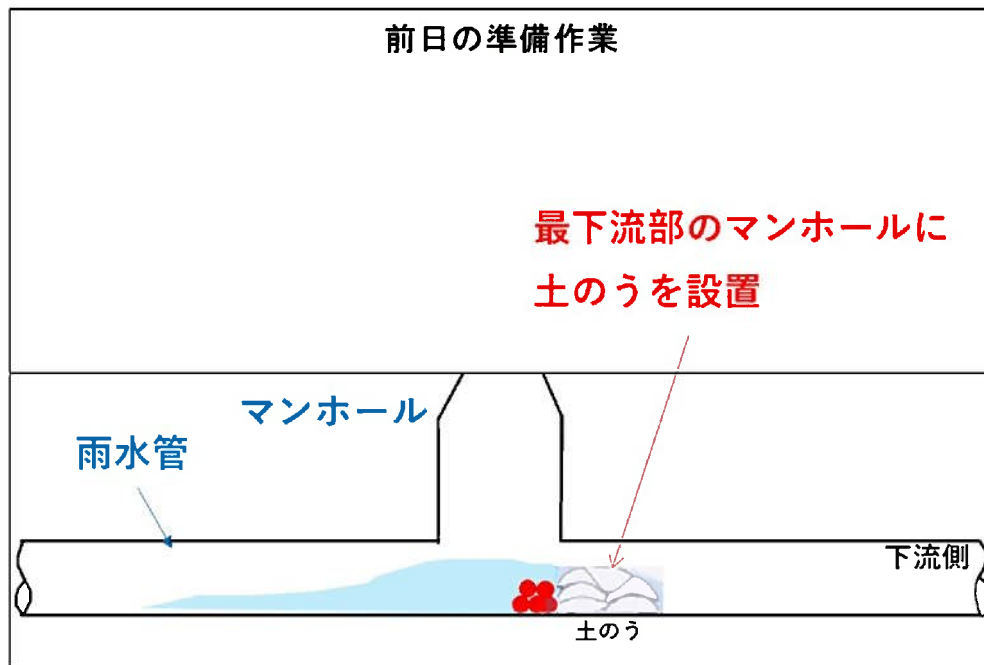
- 下水道管きょ清掃業務等を通じて、新たに誤接続の調査を行うことで、早期発見、解消に努めてまいります。



下水管きょの清掃作業状況

◎下水管きょ清掃業務時における新たな誤接続の調査方法

- 最下流部のマンホールに、土のうを事前に設置し、汚物の堆積の有無を、目視により確認する。
- 雨水管の清掃をする際、管きょやマンホール内に、汚水の臭気がないか確認する。



雨水管清掃作業時における汚水混入の確認方法